合格体験記

弘前大学人文学部　〇〇〇〇〇

とにかく勉強しませんでした。部活が終わって家に帰り、夕食を取って風呂に入り、机に向かうものの１０分と経たないうちに夢の世界へ。高校生になってからそんな生活ばかり続けていました。そしれ本格的に受験生になったのは３年生の夏。まず困ったのは、授業でやった基礎的な知識が身についていないこと。それもそうでしょう、授業も寝てばかりいたものですから。ごめんなさい先生、石等投げないでください。そりゃあもう後悔しました。「どうしてあの時ちゃんと授業聞かなかったんだろう。」特に地歴公民なんて授業でやったことがそのままセンターに出るようなもんですから。でも眠い時の自分なんてそんなこと考えていられないし、後悔したところであの頃にはもどれませんから…。３年の夏からは、少々遅めですが心を入れ替えて死ぬ気で勉強したような気がします。

頑張ってるんだけど気づいたら寝てるんだよどうすればいいんだよ！という人の為に。為になるかわかりませんが。私はこんな対策をして眠気と戦いました。朝と昼休み、時には２時間目の後の休み時間に缶コーヒーをひたすら飲みました。（飲みすぎ注意、用法と用量を守って正しく飲みましょう。）日中の授業に集中するために夜は６時間ばっちり寝ました。あと、窓際の席になった時は冬でも休み時間の度に窓を開けて換気する。４０人近くいる教室での換気の必要性を説き続けました。「寒い！」と迷惑がられた時は渋々閉めましたが。それでも授業になると落ちてくる瞼！！どうする宮脇…どうすれば…！！そして眠気覚ましに自分で頬を思いっきり叩き、クラスメイトに引かれるという結末を迎える。

そのくらい手は尽くしましたがダメな時はダメでした。そんな私を見かねた友人が私をつついて起こしてくれたのです。これが一番効きました。友人に起こされると、不思議と目が覚めるものですね。それに、自分が寝てる間にコイツはちゃんと授業聞いてたんだ…寝てる場合じゃないぞ宮脇。ええ、ちょっと焦りますね。周りを見渡せば、みんなそれぞれ頑張ってるんです。あんな顔してるけど、あの人もこの人も実は頑張ってるんだなぁ。そう思って、自分も、と頑張ってきました。

ハイ今日のまとめ。授業はちゃんと聞きましょう。眠い時は誰かに起こしてもらいましょう。授業もちゃんと聞かないで受験生にはなれません。これが私の後悔です。

参考にはならなかったもしれませんが、ここまで読んでくれてありがとうございます。以上で私の、高校生活の思い出～眠かった青春～を終わります。